

【英米文学専攻】

<教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）>

英米文学専攻では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として以下のカリキュラムを編成する。

1. 母語ならびに外国語（英語）を用いた読解力・思考力・議論構成力を養成するため、少人数の演習科目（2年次以降）および研究会（ゼミナール・3年次以降）を設置する。特に研究会では卒業論文研究・執筆指導を中心として、個々の学生が主体的に問題を発見し解決する能力を養う。
2. 英語による高度な議論の能力を身につけるため、1年次・2年次には各自の運用能力ごとにクラス編成された英語科目の履修を勧めるとともに、2年次には少人数の英語英米文学基礎講読を必修とし、専門的な議論に移行する準備として原典で文学作品や論説文を読解する訓練を行う。また卒業論文研究にあたっては英語の一次資料・二次資料を用いることを原則とし、より専門的な読解力を養う。加えて、卒業論文執筆は英語によるものと定め、英語による論理的な議論構成力および豊かな表現力を培う。
3. 英語ならびに英語圏文化に関する幅広い知識を身につけるため、2年次以降、現代英語学（言語学）・英語史・英文学史・米文学史・古代中世英語学・英語音声学を必修とする。
4. 学生の他者との交流・議論の場を設けるため、研究会での発表・討論を課するとともに、慶應義塾大学国際センターなどを通じた短期・長期の海外留学を推奨する。